

本県学校教育が目指すもの

豊かな人間性を育む学校教育

I 思いやりの心を育てる

人間愛の大切さの体得
開かれた心の育成

II 心と体を鍛える

生き抜くたくましさの育成
働くことの喜びの体得と意義の理解

III 基礎学力の向上を図る

自ら学ぶ意欲と態度の育成
幼児児童生徒の個性と能力の伸長

IV 教師の力量を高める

幅広い識見と教育愛の涵養
社会の変化に即応した研修の充実

ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり

※「学校教育の指針」p1～p3参照

生きる力の育成

学校教育共通実践課題

※「学校教育の指針」p6、p7参照

ふるさと教育の推進 ～心の教育の充実・発展を目指して～

本県では、「豊かな人間性を育む学校教育」を目標に掲げ、目指す教育の姿を「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」とし、ふるさと教育の推進を通して、その実現を図っているところです。
「全教育活動を通して取り組む最重点の教育課題」として位置付けている「地域に根ざしたキャリア教育の充実」と「『問い』を発する子ども」の育成への取組を充実させることにより、ふるさと教育の一層の推進を図ります。

【ふるさと教育のねらい】

- 1 ふるさとでのよさの発見
- 2 ふるさとへの愛着心の醸成
- 3 ふるさとに生きる意欲の喚起

【ふるさと教育の目指す人間像】

- 1 郷土の自然や風土を愛する人間
- 2 郷土の歴史や伝統、文化を正しく受け継ぐ人間
- 3 うるおいと活力に満ちた郷土を築く創造性あふれる人間
- 4 郷土の発展に尽くそうとする実践的な人間
- 5 国際社会をたくましく生き抜く人間

ふるさと教育の重点事項

心豊かで、郷土愛に満ちた人間の育成

自ら学び自ら考え、課題を追究する力などの学ぶ力の育成

高い志と公共の精神をもち、秋田の将来を支えていく人材の育成

全教育活動を通して取り組む教育課題

※「学校教育の指針」p12～p26参照

全教育活動を通して取り組む最重点の教育課題

教育課程の編成 学習指導・各教科等の指導

※「学校教育の指針」p27～p59参照

地域に根ざしたキャリア教育の充実

※「学校教育の指針」p8、p9参照

二つの教育課題に対する取組を充実させることにより、ふるさと教育を推進する

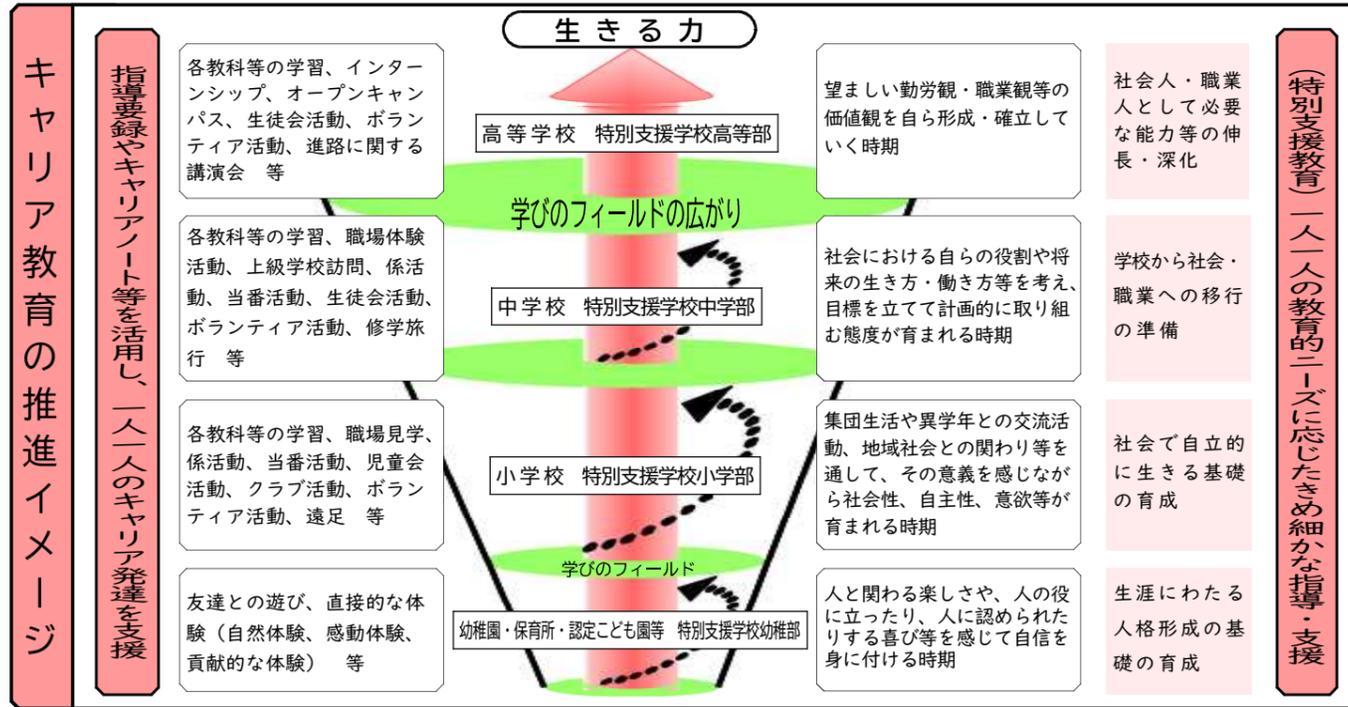
“「問い」を発する子ども”の育成

※「学校教育の指針」p10、p11参照

1 キャリア教育のねらいや成果の発信及び家庭や地域、企業等との共有

2 資質・能力の育成につながる体験活動及び事前・事後指導の充実

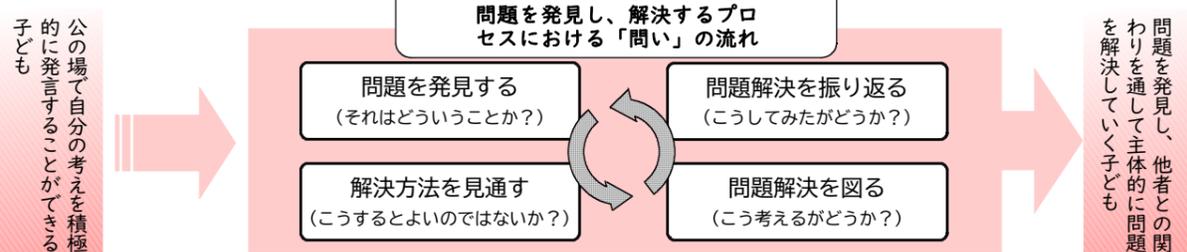
3 キャリア発達を一層促すための学校間・校種間連携の推進



“「問い」を発する子ども”の姿の出発点

「問い」を発するとは

育みたい資質・能力に着目した“「問い」を発する子ども”の姿



“「問い」を発する子ども”の育成に向けて

1 様々な教育活動における意図的な手立ての工夫
各教科等において育む資質・能力を明確にした上で、各学校における教育課程を教科等横断的な視点で組み立てるなど、カリキュラム・マネジメントの充実を図り、意図的な手立てを講じて教育活動の質の向上に努める。

2 「秋田の探究型授業」の基本プロセスを機能させた授業づくりの充実
単元や題材など内容や時間のまとまりを見通し、学習過程におけるそれぞれの段階を、効果的に機能させた上で一連のプロセスとして関連付けて捉え、授業を展開する。



3 「問い」を発するための基盤となる言語活動の充実
言語活動を取り入れるねらいを明確にし、各教科等の特質に応じてどのような場面で、どのような工夫を行い取り入れるかを考え、その質を高めるとともに、全教職員の共通理解の下、言語環境の一層の整備・充実を図る。

※本重点において、「小・中学校」には義務教育学校、「小学校」には義務教育学校の前期課程、「中学校」には義務教育学校の後期課程をそれぞれ含みます。
表紙の写真提供/左：三種町立琴丘小学校、中央：大仙市立中仙中学校、右：イングリッシュキャンプ(高校教育課英語教育推進チーム)

※『「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」』及び『第4期あきたの教育振興に関する基本計画』の施策体系については、「学校教育の指針」p4、p5に掲載しています。